Aug. 2 [Sun.]
Open Campus

九州大学
法学部
Faculty of Law

2027

目次

2027年度 法学部案内

- カリキュラムの仕組み
- 講義紹介
- ゼミ紹介
- 教員一覧
- 教員おすすめ図書
- 法学府
- 法科大学院（ロースクール）
- 法曹コース紹介
- GVプログラム紹介
- 国際交流
- 就職支援
- 就職・進学
- LPセミナー
- 各種SNS

左記の各項目へは、こちらのQRコード
または下記URLから
（**2027年度版**をクリックしてください）

https://www.law.kyushu-u.ac.jp/prospective/pamphlet

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- 法学部WEBサイト

https://www.law.kyushu-u.ac.jp/

法学部長挨拶

九州大学法学部長

武内 謙治

Takeuchi Kenji

九州大学法学部は、法学・政治学の教育を通じて、地域社会・日本社会・国際社会にあってリーダーシップを発揮しうる創造性豊かな人材を養成することを、目的としています。

法学は、人間の共同生活を規律する規範（ルール）のあり方を探究します。また、政治学は、そうした共同生活のなかで何かをやり遂げる際に生じる権力や利害、その統制のあり方を考究します。法学では、「法律にどのような規範が書かれており、それが具体的な事件でどう適用されるか」だけでなく、「なぜその規則が存在しているのか」、「その規則はそもそも必要なのか」といった事柄を学びます。政治学では、「国家・議会・政党といった制度、意思決定や選挙といったプロセス、民主主義・自由・正義といった理念を通して、権力をいかに用い、統制するか」を検討します。法律と政治は、生命、身体、財産に直接関係する、人間が共同生活を送るための社会基盤（インフラストラクチャー）です。法学と政治学は、どちらも、社会に不可欠です。

九州大学法学部における教育には、次のような特徴があります。

第一に、法学と政治学を一体的に、様々な角度から学ぶことができます。法学と政治学を深く学ぶためには、現実と理論、歴史と未来、国内と国際のいずれも踏まえなければなりません。また、法学と政治学は、一方を学ぶのに他方が不可欠であるという関係にあります。九州大学法学部は、これに応えることができる高い専門性をもち、基礎から応用までカバーできる教員を擁しています。現実の世界では、現在、その規模の大きさと重要性の高さにおいて明治期と戦後改革期に匹敵する法制度の改革が次々と行われています。これまで当たり前と考えられてきた制度や理念が、根本から問い直され始めてもいます。地球規模の気候変動や生成AIの急速な発達など、社会が急激に変化し、先を見通すのが難しく、複雑になるなかで、人間の生活を取り巻く問題をひとつの社会や国家のなかだけで解決することが難しくなってもいます。現在、法学と政治学の双方を一体のものとして様々な角度から学ぶ必要性は、ますます高まっています。

第二に、最新の研究成果を土台とする教育を通して個々人の学びを加速、促進、展開させ、より高次の学びへと接続することができます。九州大学法学部では、学界の最前線に立つ教員が、自らの研究を踏まえた生きた学問を教育へと還元しています。そのための密度の濃い教育を、低年次から展開している少人数による演習授業（ゼミナール）が可能にしています。この地盤のうえで、九州大学法学部は、現代の社会に対応するために、学部の教育を大学院の教育へと架橋する仕組みを充実させています。まず、法科大学院（ロースクール）へと橋渡しするものとして、法曹コース（2020年度設置）があります。ここでは、実定法科目を中心とする体系的で一貫的な教育を通して、法学部を3年間で卒業することができます。既修者コース（2年間）へと進学した場合、5年間で法科大学院を修了することができます。また、研究を行う大学院（法学府）と架橋するものとして、法学府科目先行履修プログラム（2024年度開設）があります。これにより、法学部在学中から大学院（法学府）の単位を先行して履修することができます。さらに、英語によるGV（Global Vantage）プログラム（2015年度から開始）では、集中的な教育プログラムにより法学部を3年間で卒業することができます（2026年度開設）。大学院（法学府）を1年間で修了することもできますので、この場合、最短4年間の学びで学士及び修士の学位を取得することができます。

第三に、最新の学修環境に囲まれつつ、永い歴史と伝統に根ざした教育を受けることができます。九州大学法学部は、2018年の秋に伊都キャンパスの文系地区（イーストゾーン）に移転しました。教室、ゼミ室、学修室、図書館など、最新の学修環境を活用することができます。しかし同時に、九州大学法学部は、永い歴史と伝統をもっています。その前身となる九州帝国大学法文学部が創設されたのは、1924年9月のことです。これが、1949年5月の新制九州大学発足に伴い法学部となりました。2024年には、法文学部創設100周年を迎えました。これまでに輩出した卒業生の数は、1万9800人を超えており、法曹、公務員、企業・団体の職員、国際機関やNGOの職員などとして、多様な分野で活躍しています。

九州大学法学部は、九州帝国大学法文学部の創設以来、自由の学燈を掲げてきました。九州大学法学部は、現在でも、学びを求める者が自発性をもって集い、出会い、各人が自らの人格を自由に発展させるにふさわしい陶冶の場でありたいと願っており、現にそうであることを自負してもいます。悠久の歴史のうえにある伊都キャンパスで、法学や政治学を学ぶ意欲に溢れたみなさんと直接対話できることを楽しみにしています。

お問い合わせ先

九州大学 人文社会科学系事務部 学務課 法学担当
〒819−0395 福岡市西区元岡744
TEL 092−802−6367
jbkkyomu2la@jimu.kyushu-u.ac.jp

2027
Open Campus
九州大学 法学部
Faculty of Law Kyushu University

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY